

平和新聞

75人参加

原水爆禁止世界大会大阪集会

各地で連帯

8月9日「平和の波」

世界大会大阪集会が、8月6日午後7時よりエル大阪南館大ホールで開催され、府下各地域、団体から75人が参加しました。コロナ禍のため参加者数が心配でしたが、被爆75年の節目にふさわしい大きな集会になりました。

最初に、川辺和宏・大阪原水協理事長が「大阪で集めたペナント1200枚と折り鶴を8月1、2日にかけて広島に届けてきた」と挨拶。

その後、150分のオンライン広島大会を5分に短縮したバージョンを視聴。

続いて続昌司・事務局長から「ヒバクシャ国際署名の推進」など5つの行動提起。4番目の行動として、「大阪平和委員会などととも、軍事費削減、米軍基地の撤去など反戦、平和の課題で共同を進展させる」が挙げられました。

次に、新婦人代表(杉本和さん)、八尾原水協(木村薫さん)、民医連(庄司修さん)が発言。最

後にヒバクシャの山川美英・原水協副理事長のメッセージが紹介されました。

各地で連帯行動実施

8月6日コロナ禍のために広島での世界大会がオンラインとなったのを受け、各地域の平和委員会は、様々な対応策を講じました。以下に4つの例を紹介しします。

堺平和委員会は、午前8時15分から中百舌鳥駅前で亀井明子・大阪平和委員会事務局次長など9人の参加で「平和の波」宣伝行動(写真左)を実施しました。

天王寺平和委員会は、鶴橋で午前8時から参加者10名で「平和の波」行動を実施しました。

東住吉平和委員会は、事前に広島デーオンライン参加を日本原水協本部に申し込み、会の事務所に10人以上集まって集団で視聴しました。

旭区平和委員会も、同じく集団視聴しました。



長崎に原爆が落とされて75年目の8月9日午前10時半よりJR天王寺駅東口で国労、生協、福祉保育労など労働組合の仲間も含め27名の参加で「平和の波」行動が行われました。

染原・大阪原水協事務局員の司会のもと、竹中・自治労連副委員長、釘宮・民医連事務局長、秋元・新婦人事務局長に続き、上羽事務局長が4人目の弁士として、

「NHK広島放送局のアンケート調査では、アメリカの若者の約7割が『核兵器は必要ない』と回答。日本では約85%が『必要ない』と回答。このように若い人たちの間で核兵器NO!の声が大きくなってきている。しかし、気候変動対策の遅れ、米ロ対立にもとづく中距離核戦力(INF)全廃条約の破棄、コロナ禍をよそに昨年7・8兆円が核兵器開発にかわれたことを背景に『終末時計』が100秒前となり人類滅亡が近いと警告している」

「昨年11月、13億人の信徒を有するローマ・カトリック教会のフランチェスコ教皇

が広島と長崎を訪れ、『核兵器と武器にお金をつかうべきでない』と訴え、現在、核兵器禁止条約の批准国が43カ国となり、発効まであと7カ国となった」と訴えました。

沖縄連帯特別集会

原水爆禁止2020世界大会(オンライン)の一環として8月4日午前、特別集会Ⅱ「沖縄連帯、外国基地撤去」が日本平和委員会の千坂事務局長の司会で開催されました。

この集会では、フィリピン、韓国、グアム、ドイツなどの海外代表から、米軍基地の実態や騒音、環境汚染物質、プーフォスの垂れ流しなど環境汚染などについて報告が行われました。

日本側では、玉城デニー沖縄県知事からの連帯メッセージが紹介されたほか、沖縄県統一連の瀬長和男さんが次のように発言しました。

「沖縄を米軍基地の島にしてはならないという県民の願いの原点は、県民の4人にひとりがかなくなった75年前の沖縄戦にある。私の母の父もこの沖縄戦で亡くなった。辺野古新基地を完成させるには、10トンダンプ350万台分の土砂の量が必要で、かつ大浦湾の水深90メートルの地点には超軟弱地盤があり、その地盤改良は技術的にも困難であることが判明している。さらに大浦湾には活断層が走っている。工事の進捗状況は2%に過

ぎない」。比嘉みずき・沖縄県議(日本共産党)は「昨年の県民投票で基地建设ノアの民意が示され、今年6月の県議選でも共産党7議席をはじめ新基地建設反対の『オール沖縄』が過半数を占めた。技術的にも政治的にも辺野古基地建設はできないという状況だ」と発言しました。

月例沖縄連帯行動

大阪平和委員会は、8月14日正午から小一時間近鉄上本町駅前まで沖縄連帯行動を9人で実施。上羽事務局長とうたごえ協議会の立川孝信さんがマイクで「コロナ禍のなか安倍政権は、国民生活支援や医療拡充には冷淡な一方、沖縄・辺野古基地建设に2・5兆円のお金を費やし、米国から兵器を爆買し、米国とともに戦争する態勢づくりを総額27・5兆円を注ぎこもうとしている」「軍事費削ってコロナ対策・生活保障を！」と訴えると、

酷暑にもかかわらず、小学生はじめ17人が次々に辺野古新基地建设反対署名にに応じてくれました。





天王寺戦争展開催

「コロナ禍のなか41人参加、会員もひとり増える」

7月25日、コロナ感染対策をとりながら、「第9回平和のための天王寺戦争展」が大阪市立社会福祉センターで開かれました。

会場には原爆、太平洋戦争、大阪空襲、従軍看護婦、戦争遺跡のパネル、戦争遺品が展示されました。

午前11時から大阪原水協顧問岩田幸雄さんが「世界の核廃絶運動」について、映像と音楽をまじえながら話しました。そして馬場忠雄さんが府内通し行進10年間を振り返り「私たちの運動が間違いなく世界を動かしている」と語りました。

午後1時30分からは平嶋正さん(年金者組合)が「抑止論」の問題提起をし、ひとり一人がどう考えるか、これからどうしていきたいかを出し合い、熱心な討論がなされました。

午後3時から原省吾さんと岡原美保さんのアコーディオンとオカリナ(岡原さんはデビュー)のコラボ演奏。

高橋幸子さんと石井真幸さんから戦争体験が語られました。午後4時から映画「ひろしま」



を見て戦争の悲惨さを、あらためて実感し「忘れない、伝えよう」と決意を固めました。

参加者からは「抑止論の問題提起よかった。戦争する国にさせないために、学びあつて伝えていくことの大切さを再認識できました。コロナの不安の中で、どうつながっていくのか考えながら、やっぱり集まって学びあうことがとても大切で力もらえます」など多くの感想が寄せられました。

阿倍野、東住吉、堺からいられた方が「地元で戦争展を開きたくて参加させてもらいました」と話していました。

ひとりの女性は展示品を見ながら、目を真っ赤にして、「父を思い出して」と語りました。支援募金が一万一千円よせられ、会員も1名増えました。

田辺模擬原爆追悼式

「テレビ大阪、関西テレビ、大阪民主新報などが取材」

1945年7月26日午前9時26分、田辺小学校の北側に模擬原爆が落とされ、死者7名、重軽傷者73名、焼失倒壊家屋485戸、罹災者1645名という大きな被害が出ました



それから75年目のこの日午前9時から追悼式が田辺の恩楽寺で行われました。コロナ禍のなか小学生など参加制限が設けられましたが、50名ほどが参加し追悼しました。

田辺模擬原爆の語り部・滝野茂子さん、作家の令丈ヒロ子さん、田辺小学校5年生代表、ユニセフ大阪代表の中馬弘毅さんなどが来賓として参加。

来賓の最後に紹介された植田晃子会長は「昨年平和委員会が若い人の呼びかけで結成された平和の声と運動を東住吉中に広げていきたい」と挨拶しました。

青年が奈良役員会出席

8月2日岩本悟・青年協副議長が奈良県平和委員会の常任理事会に出席し、大阪の組織建設の経験について報告しました。

以下はその報告後の反応あるいは議論について岩本さんがまとめたものです。

◎若い人を見つけてるのはおろか、対象者もあがるのが大変だが、自分より5から10歳下の人へのアプローチからならはじめられそう。◎「まずは家族から」とはじめるのは決して悪いことじゃない、そこからはじめてみた。◎負担になると思い声をかけてこなかったがダメもどで声をかければ「忙しくてなにもできないけど所属することで平和の想いをつなげる」といってスツと入会してもらった経験 ◎県からのお手紙を読んで「本気度が伝わった!」と購読をしてくれた人がいたという報告

◎対象者が少なくなるなら、平和の思いをもった他の団体とながって広げていくのはどうかーなどの地域役員との議論の展開。◎桜井市では、5名会員がいるので基礎組織をつくれるかもという声も...

四国会議に二人参加

7月28日午後四国ブロック会議が14人の参加で開催されました。オンライン環境の整った徳島以外の3県は高知平和委員会事務局に集い会議に参加しました。河戸・日本平和委員会組織委員長司会が開会。最初に千坂事務局長が挨拶を兼ねて9月に実施される全国大会をめぐる情勢と方針について提起。次に4県から情勢と運動課題、仲間づくりについての報告。その後、上羽事務局長が大阪の仲間づくりについて、



たまたま会費・紙誌代の請求実務のため事務所にきていた山本樹・青年協議長も大阪の青年の活動について発言し、4県の役員を励ました。

ポストコロナ社会を 考えるのに役立つ本

①「コロナショックは世界をどう変えるか」中央公論新社
著者のイワン・クラステフ氏は、「いまはみんなオンラインにいて、同じく重要なことに、みんながこれを暮らしのあらゆる場面に用いようとしている」「その通りかも知れないが、路上で不満や要求を自由に表明できる『広場の人びと』がいなければ民主主義は存続不可能だ」と述べる。

②「パンデミックを生き抜く」朝日新書
著者の濱田篤郎氏は「新型コロナウイルスの流行は必ず終息する。その次に待っているのは新たなルネサンスの時代かもしれない」と私たちを励ます。

【9月の行事案内】

- 2日(水) 大阪安保幹事会 10:00 大商連会館
- 大阪平和委員会常任理事会 18:00
- 6日(日) 日本平和委員会常任理事会 オンライン 13:00
- 老朽原発動かすな大集会 13:00 会場未確定
- 9日(水) 6・9行動 12:00 近鉄上本町駅頭
- 12日(土) 日本平和委員会全国大会 オンライン 11:00~
- 母親大会・映画「沖縄」上映 阿倍野区民センター
- 15日(火) 沖縄連帯行動 12:00 近鉄上本町駅頭
- 23日(水) 組織委員会 18:30
- 安保定例宣伝 12:00 淀屋橋
- 23日(木) 組織委員会 18:30 ~